

長野市政策コンペティション発表資料

チーム12

～長野市在住の学生による観光促進事業～

「長野だからこそその観光を」

人々を魅了する長野市の観光を考える

目次

課題・現状

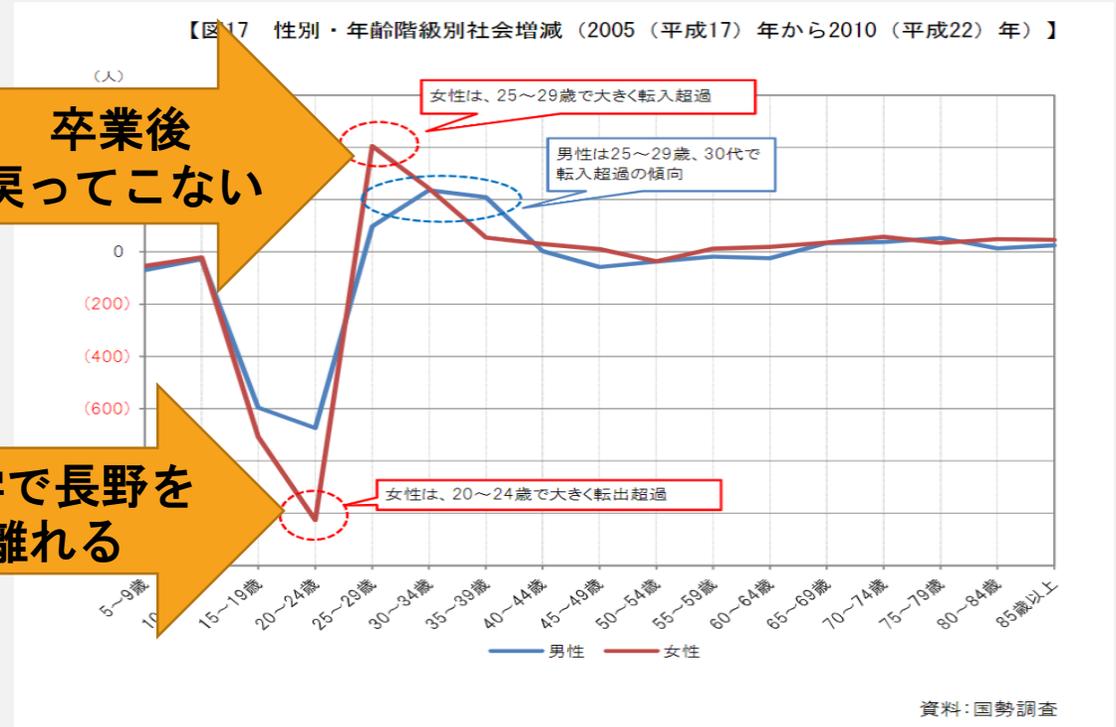
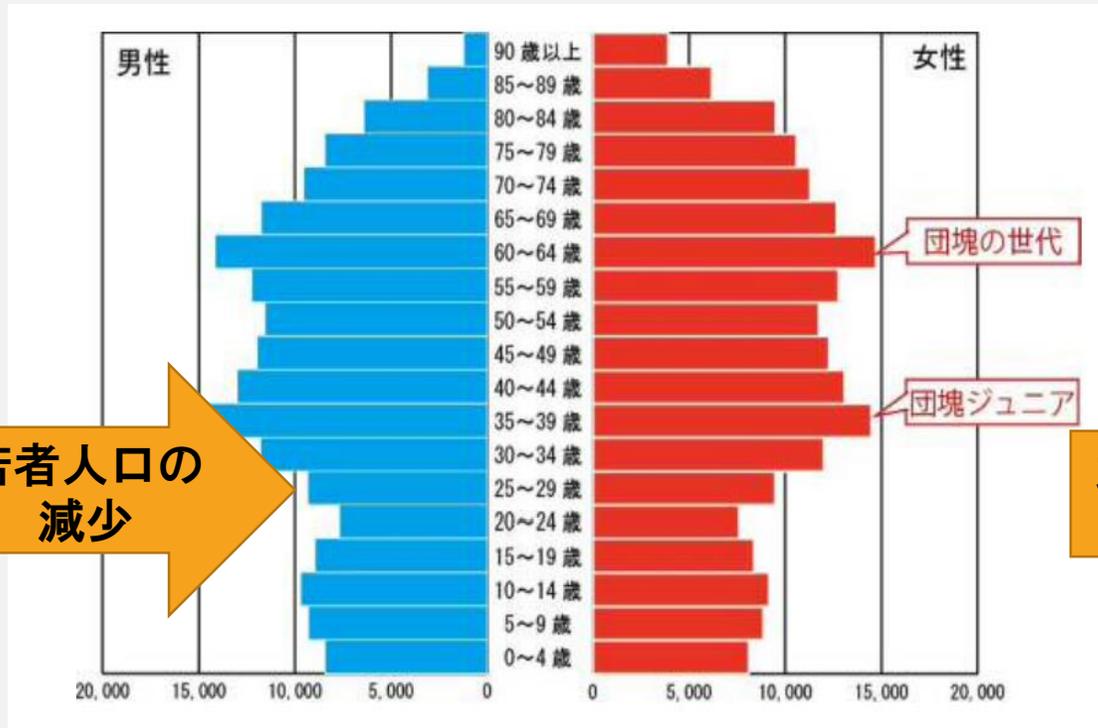
提案に基づいたヒアリング調査

実現策・解決策（アイデア）の方向性

まとめ

課題・現状

- 少子化・高齢化・若者の地元離れが増加している現在で、将来長野市に居住する若者の確保がまちづくりには必須である。

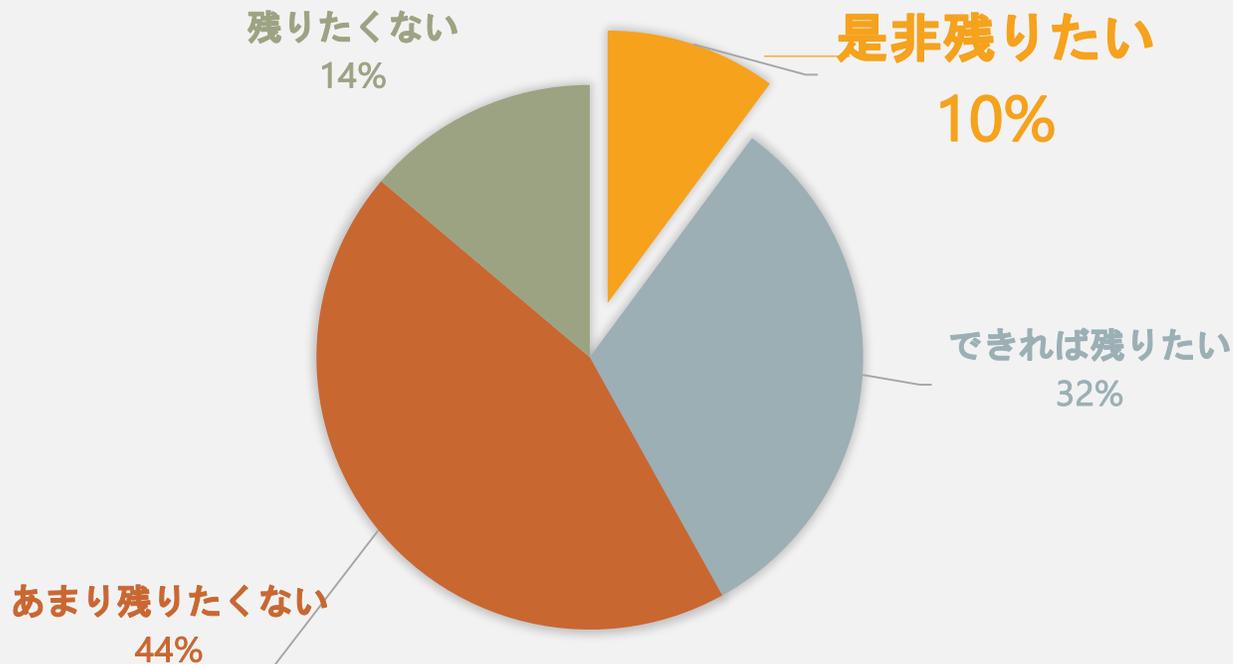


アンケート調査を実施

➤ 真野ゼミで行った長野県立大学生を対象としたアンケート結果から 回答数（217名）

将来、長野市に残りたいと思いますか？

アンケート結果から



約4割の学生が将来長野市に残りたいと考えている



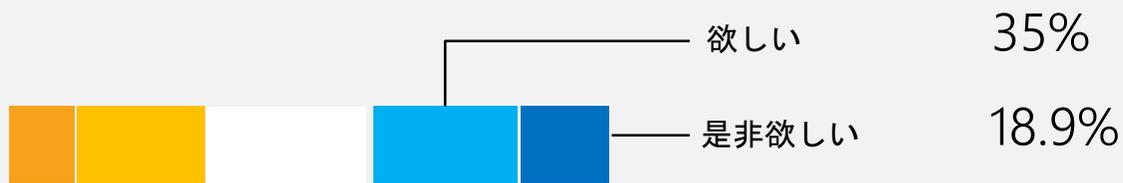
それ以外の学生に長野市に残ってもらうには？

アンケート調査を実施

➤ 真野ゼミで行った長野県立大学生を対象としたアンケート結果から 回答数（217名）

アンケート結果から

Q.英語の授業以外に英語を話す機会が欲しいですか？



54%

授業で学んだ英語を活かしてリアルな会話を体験したい。

Q.もし、「外国人観光客に英語で長野市のまちを案内する」という研修があったら参加したいですか？



25%

具体的な活動に参加してもいい。

提案に基づいたヒアリング調査

- 提案について、どこまで実現可能なのかを4つの団体にヒアリング調査を実施

長野市観光振興課

観光ガイドパス
の発行について

長野市ガイド協会
梵鐘の会

ボランティア
ガイドの受け
入れについて

長野市観光
情報センター

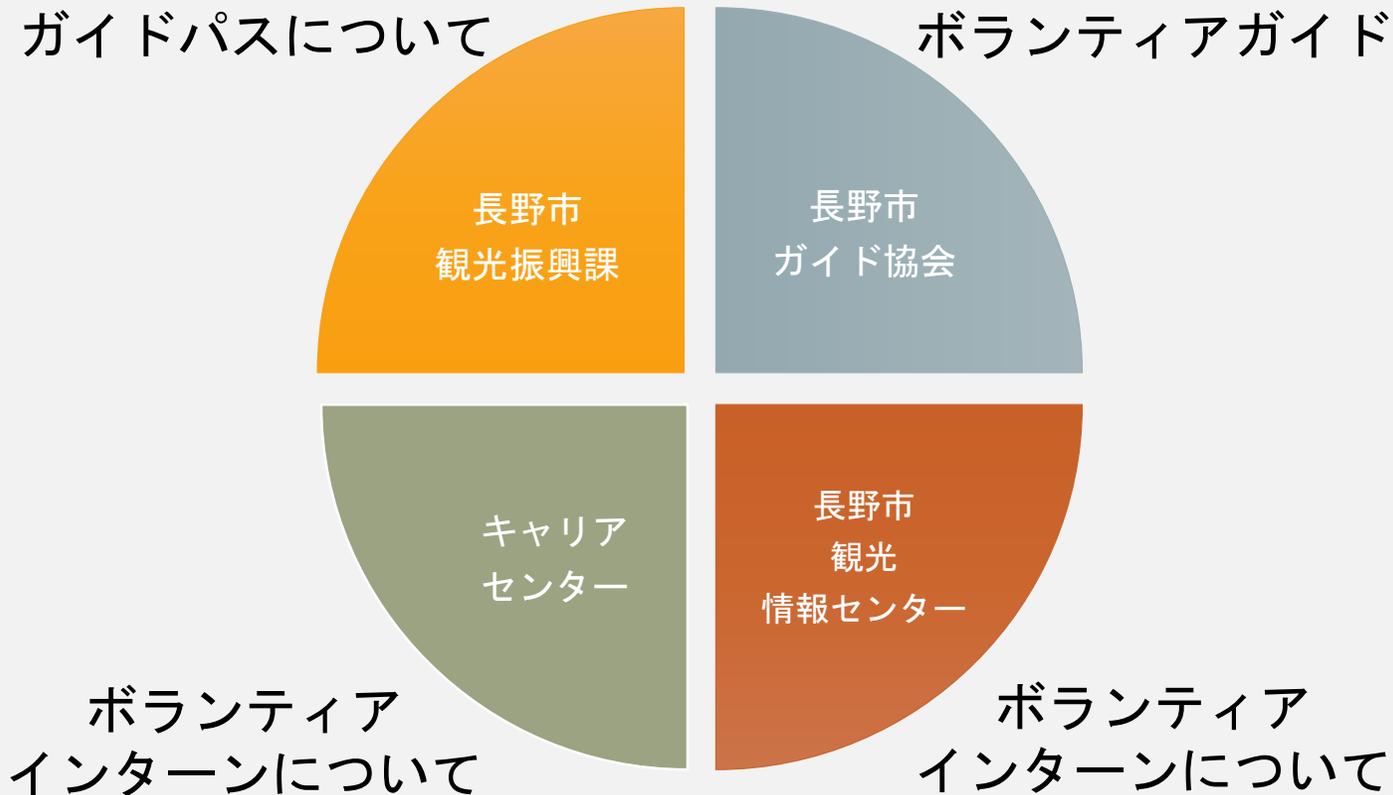
ボランティア
インターン
について

長野県立大学
キャリアセンター

ボランティア
インターン
について

提案に基づいたヒアリング調査

- 各団体へのヒアリング調査の結果から



各団体協力的であるが、、、

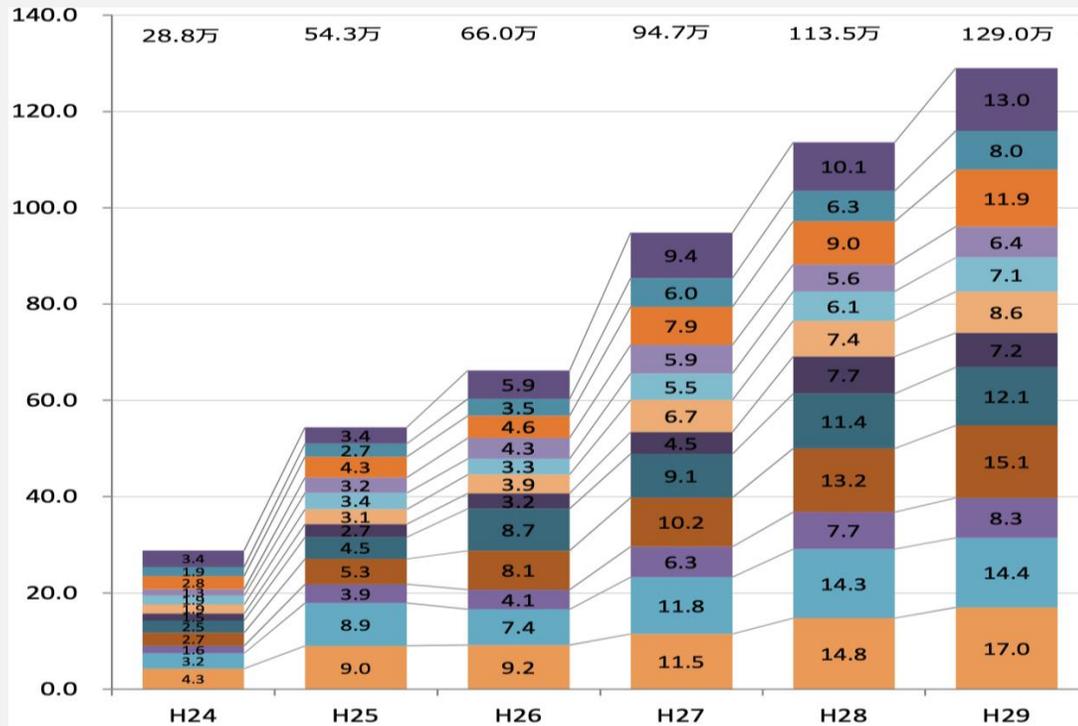
- 資格の発行には正式なオファーが必要
- インターン・ボランティア
正式なオファーが必要
- ボランティアになるための検定取得

私たちの提案を実現させるために

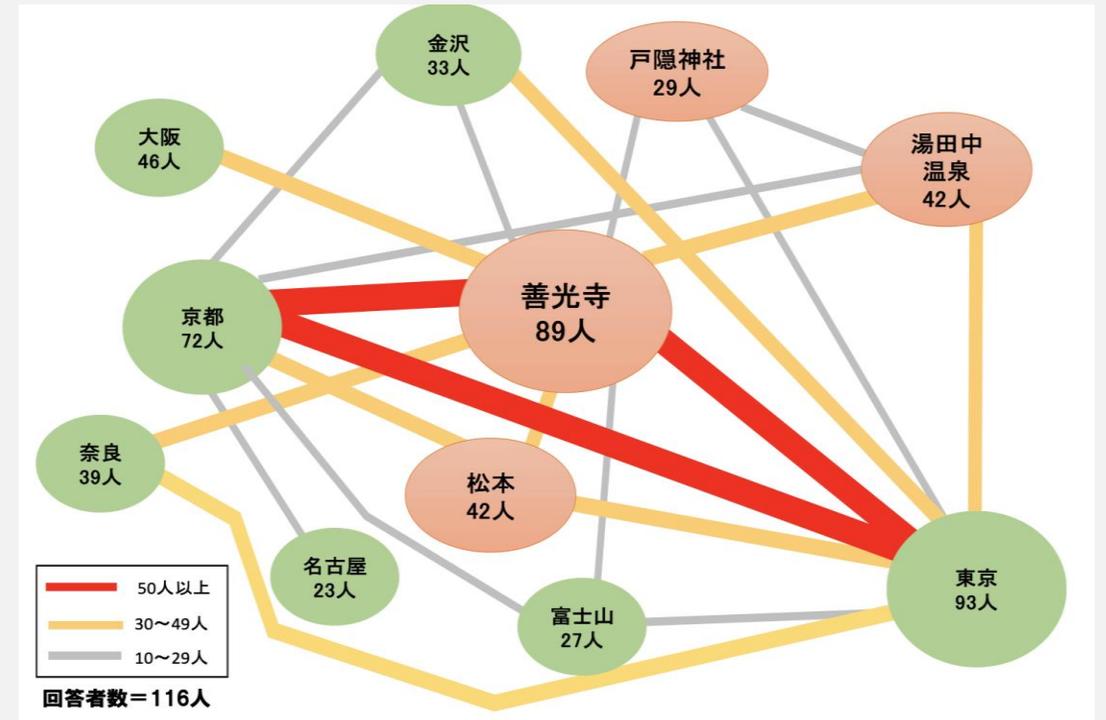
3つの課題がある

長野市のインバウンドのデータ

訪日外国人観光客数の推移



訪日外国人観光客の周遊状況



インバウンドは増加傾向にある

善光寺が重要な資源である

提案のイメージ図

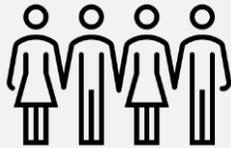
中央通りを中心に学生が様々な場所で旅の助けをする、
学生ガイドで溢れかえっている街の実現を目指す

街中に学生ガイド(英語対応可能)が
困っている観光客に対して素早く対応する



学生

外国人観光客



外国人観光客

学生

中央
通り



フォトスポット



街中にフォトスポットを設置
ガイド兼カメラマンの学生が観光客の写真を撮影

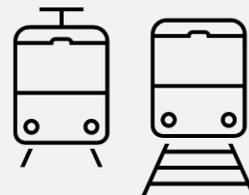


観光ガイド資格

3つのステップをクリア
した学生に観光ガイドとし
ての正式な資格を発行する



公認ガイド



長野駅

アイデアの検証

Q.観光ボランティアが将来の貢献につながるのか？

大阪府堺市の事例から

堺市を訪れる観光客の多くが、観光資源の魅力を理解するに足る相対的に高い知的水準を持っており、ガイドの表す「**ホスピタリティにも、水準の高いもの**」が要求されることに繋がっている。

未来への課題として

観光学実習の経験者の中から、大学院に進み、堺における「**観光資源の再評価に挑戦**」してみようとする者たちが現れている。小さな事例の一つではあるが、水準の高いガイディングからの影響が大きいと言えよう。

アイデアの検証

Q.観光地を訪れる外国人旅行者が求めているものは？

静岡県箱根市のケース

旅行者はじゅうぶんな旅費を準備している傾向があった一方、

「なかなか日本人とコミュニケーションをとれない」と物足りなさを感じている。

箱根に来る外国人旅行者の場合

東京、京都、富士山といった観光地を訪れた後、温泉や景観に惹かれて来訪し、

「地域住民との交流」に物足りなさを感じているのだと推測できます。

長野市在住の学生による観光促進事業提案

➤ アンケート結果をもとに

長野市在住の学生による観光促進事業を提案する

1

- 長野県立大学生を対象に長野市の歴史・文化を知る学ぶ英語研修を開催

2

- 観光ボランティア・外国人と話すことに興味を持っている学生を募集

3

- その参加者の中から特に熱い思いを持った人材をボランティアに

ゴール

- 長野に愛着を持ち、長野を応援してくれる人材になる。

長野市在住の学生による観光促進事業提案

1 長野県立大学生を対象に長野市の歴史・文化を知る学ぶ英語研修を開催

対象

- ・ 象山寮に入寮してきた長野県立大学生
パンフレット等を作成し宣伝

研修

- ・ 長野市の善光寺通りを中心に英語で長野市を案内する研修

募集

- ・ 観光研修を通して長野市に興味を持った学生を募集

長野市在住の学生による観光促進事業提案

2

観光ボランティア・外国人と話すことに興味を持っている学生を募集

強み

長野県立大学
<ul style="list-style-type: none">➤ 学生➤ 英語➤ グローバルな視野➤ ボランティア精神

熱意のある学生

学生
<ul style="list-style-type: none">➤ 観光ボランティア➤ 英語を活かせる➤ 異文化理解

長野市在住の学生による観光促進事業提案

3

その参加者の中から特に熱い思いを持った人材をボランティア

長野検定

毎年11月に実施される
長野検定に合格する必要がある

研修

5日間の観光研修を実施
中央通りを中心にガイド研修

英会話研修

ネイティブの先生を招いた
英会話講習を定期的実施

3つのステップをクリア



正式なボランティアガイドに

長野市在住の学生による観光促進事業提案

正式なボランティアガイドになったら…

街中での活動



困っている外国人観光客に対応



フォトスポットの紹介と写真撮影

フォトスポット例：下後町秋葉神社、十念寺、宿坊など

ボランティアガイド活動の盛り上げ



観光研修のパンフレット作成（市役所と協力）



学生内で後進の発掘

長野市在住の学生による観光促進事業提案

1) 英語の善光寺観光ツアーを1年生が受ける

2) 困っている外国人を見かけたら、
話かける→道案内→フォトスポットへ連れて行く→撮影

ガイドにならなくても、それだけで長野市の
インバウンドの体験価値をたかめ、外国人のSNSが増える。

研修の実施



素人案内
学生の増加



更なる素人
案内学生の増加



ボランティアの育成



SNSを通して長野市を知り、インバウンドを増やす

長野県立大学の学生が卒業後も長野に愛着を持ち、
長野を応援してくれる人材になっている。

長野市に愛着を持ってくれる
外国人が増えている。

課題

解決策 1

解決策 2

長野県立大学生に
英語で善光寺の説明
ができる研修をする

学生観光
ボランティアの育成

現状

時間軸

現状

課題

4年間長野市にいても
長野への愛着が持てない学生も多い

外国人観光客が長野の歴史・文化を
知らずに帰ってしまう。

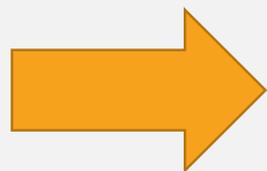
長野市在住の学生による観光促進事業提案

市役所との関わり方について

学生が市役所の戦力になる

+

事業の中心をCIR職員に



長野市の観光推進事業の一部として

私たちの提案を受け入れて欲しい

提案のイメージ図



ご清聴ありがとうございました

チーム12

～長野市在住の学生による観光促進事業～

「長野だからこそその観光を」
人々を魅了する長野市の観光を考える

コメント頁